

# 多層性のレッスン

絵本・幼年童話・児童文学みちしるべ

奥山 恵 著 [ 児童文学評論家・雑誌「日本児童文学」編集長  
子どもの本専門店 ハックルベリーブックス 店主 ]

9月18日発売予定

定価：本体 1,500円+税  
新書判 124ページ  
ISBN978-4-910675-02-2 C0095

## 絵本・童話・児童文学を新しい視点で分析 ブックガイドとしても最適

児童文学評論家で、子どもの本専門店「ハックルベリーブックス」店主でもある奥山恵氏が「多層性」をキーワードに絵本、幼年童話、児童文学を紹介します。日々、本屋を営みながら感じ、考えていることを背景に、多種多様な作品がバラバラではなく互いに響き合い、融合し合っている子どもの本の多層性をひもときます。12のテーマにそって具体的にたくさんの作品を紹介しているので、子どもの本のブックガイドとして保護者、先生、司書、読み聞かせボランティアなど多くの方の役に立つでしょう。

奥山 恵 (おくやま・めぐみ) 千葉県生まれ。千葉大学大学院修士課程修了。都立高校教員を経て、2010年より千葉県柏市にて子どもの本専門店「Huckleberry Books」(ハックルベリーブックス)を営む。『〈物語〉のゆらぎ見切れない時代の児童文学』(くろしお出版)で第45回日本児童文学者協会新人賞受賞。日本児童文学学会・日本児童文学者協会・JBBY(日本国際児童図書評議会)会員。雑誌「日本児童文学」編集長。

### [目次]

- 第1章 赤ちゃん絵本というレイヤー
- 第2章 子どもはなぜ恐竜絵本が好きか?
- 第3章 「バムとケロ」シリーズ、「人気」のひみつ
- 第4章 絵本、本の絵、その営み
- 第5章 コラボレートへの信頼
- 第6章 小さな文字の大きな力

- 第7章 「帯」への違和感
- 第8章 「役に立つ」問いに抗って
- 第9章 時差という希望
- 第10章 一人になって考える場所
- 第11章 ファンタジーの孤独
- 第12章 迷路の時代に  
おわりに 那須正幹作品の多層性について



ご注文は、直接取引(取引代行：トランスビュー)、取次経由のどちらも可能です。

BookCellarからもご注文できます。▶▶▶

直接取引の条件は、トランスビュー商品と全て同じです(随時返品可)。

取次経由は、トーハン、日販、楽天BN他どちらからも可能です。日教販経由での納品となります。注文扱い、返品可能です。

▼ご希望の取引方法をチェックして、FAX番号をご確認の上、送信してください。

<input type="checkbox"/> 直接取引(返品可/取引代行トランスビュー)	<b>FAX: 0120-999-968</b>
<input type="checkbox"/> 取次(日教販経由・注文扱い・返品可)	<b>FAX: 0480-47-0016</b>



<p><b>多層性のレッスン</b> 絵本・幼年童話・児童文学みちしるべ</p> <p>定価 本体1,500円+税 新書判(176ミリ×113ミリ) 124ページ ISBN978-4-910675-02-2 C0095</p>	<p>ご注文</p>	<p>貴店名</p> <p style="text-align: center;">冊 にご担当</p>
---	------------	--

## 第1章 赤ちゃん絵本というレイヤー

坂口恭平『独立国家のつくりかた』

まつおかたつひで『ぴょーん』

うしろよしあき／長谷川義史『なあんだなんだ？』

かがくいひろし『だるまさんが』

安西水丸『がたんごとんがたんごとん』

とよたかずひこ『どんどこももんちゃん』

五味太郎『きんぎょがにげた』

## 第2章 子どもはなぜ恐竜絵本が好きか？

黒川みつひろ『たたかえ恐竜トリケラトプス』

『恐竜トリケラトプスの大逆襲』『恐竜トリケラトプスとウミガメのしま』

佐々木正美『完 子どもへのまなざし』

## 第3章 「バムとケロ」シリーズ、「人気」のひみつ

島田ゆか『バムとケロのにちようび』『かばんうりのガラゴ』

## 第4章 絵本、本の絵、その営み

長野ヒデ子『せとうちたいこさん デパートいきタイ』

丘修三／長野ヒデ子『海をかえして！』

長野ヒデ子『ふしぎとうれしい』

## 第5章 コラボレートへの信頼

ジャッキー・フレンチ／さくまゆみこ／北見葉胡『ヒットラーのむすめ』

北見葉胡『タマリンとポチロー』

安房直子／北見葉胡「安房直子コレクション」

内田麟太郎／西村繁男『がたごとがたごと』

内田麟太郎／いせひでこ『はくちょう』

内田麟太郎／中村悦子『おかあさんになるってどんなこと』

内田麟太郎／味戸ケイコ『かあさんのころ』

内田麟太郎／黒井健『だれかがぼくを一ころさないで』

## 第6章 小さな文字の大きな力

きたやまようこ「ゆうたくんちのいばりいぬ」シリーズ

『いぬうえくんがやってきた』

なかがわちひろ『のはらひめ』『きょうりゅうのたまご』『カッパのぬけがら』『天使のかいかた』

## 第7章 「帯」への違和感

中脇初枝『きみはいい子』『稲荷の家』『祈祷師の娘』『あかいくま』『女の子の昔話』

## 第8章 「役に立つ」問いに抗って

たかどのほうこ『へんてこもりにいこうよ』

『おともだきにナリマ小』

ひこ・田中『レッツとネコさん』

石井睦美『すみれちゃんは一年生』

## 第9章 時差という希望

魚住直子『非・バランス』『超・ハーモニー』『象のダンス』『オレンジソース』

『Two Trains』『園芸少年』

## 第10章 一人になって考える場所

梨木香歩『僕は、そして僕たちはどう生きるか』

吉野源三郎『君たちはどう生きるか』

## 第11章 ファンタジーの孤独

ル＝グウィン『影との戦い』

朽木祥『かはたれ』

## 第12章 迷路の時代に

香川元太郎『時の迷路』

中山千夏／和田誠『どんなかんじかなあ』

おわりに

『日本児童文学』

那須正幹「ズッコケ三人組」シリーズ

『ぼくらは海へ』『ねんどの神さま』『絵で読む広島原爆』『少年たちの戦場』